

JA 広島北部ミニトマトグループが販売額 1 億円達成

【平成 29 年 2 月 15 日掲載】

北広島町千代田，大朝地区と安芸高田市の生産者で組織する JA 広島北部野菜生産部会ミニトマトグループ（大石克哉（おおいし かつや）グループ長，生産者 34 戸，3.4ha）では，平成 28 年度の販売額が 1 億円突破を記念して祝賀会を 1 月 27 日に盛大に開催しました。

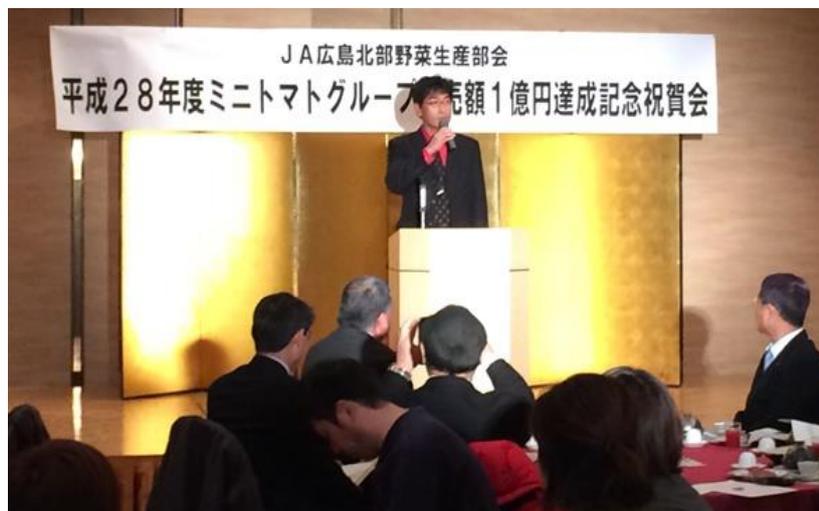
大石グループ長は，「この中山間地域の出荷期間が限られる中で，1 億円達成をできたことの意義は大きい。今後も高まる地産地消のニーズにしっかり応えていきたい。」と述べられました。

同グループの発足は平成 17 年で，翌年には JA が共同選果場を整備し，パック詰め作業負担が減ることで，生産者は栽培に専念できるようになりました。

平成 20 年には，県事業を活用して 4 戸の若手生産者がミニトマト主体での経営を開始し，平成 23 年からは，集落法人や企業を対象に水稻育苗ハウスを利用した移動式トロ箱栽培が普及しました。

さらに，平成 26 年以降は，北広島町の研修制度により 3 名の新規就農者を育成するなど，継続的な支援を進めてきました。

今後は，担い手や作付面積などを増やし，栽培技術向上を支援することで，グループ販売額 2 億円を目指します。



【祝賀会で挨拶する大石グループ長（場所：北広島町 北ホテル）】